

瀬戸内の人と自然が共生するまちの 第2次再生計画

都道府県名	岡山県	
作成主体名	瀬戸内市	
区域の範囲	瀬戸内市の全域	

地域再生計画の概要

本市は第1次計画による汚水処理施設整備により、汚水処理人口普及率を26%から50%へ向上させてきた。しかし、全国平均と比較すると依然として整備が遅れており、さらなる汚水処理施設の整備が必要である。このため、交付金を活用し汚水処理施設の整備を推進することで市民の生活環境を改善する。これに併せて、市内に生息し絶滅が危惧されている貴重な動植物などの自然保護を行い、人と自然が共生するまちづくりを進め、市民のこころが安らぎ、にぎわいのある地域として再生することを目指す。

適用される支援措置

- ・ 汚水処理施設整備交付金



緑豊かな自然



希少植物であるミズワラビ